

通信事業者向け仮想 IMS ソリューションを開発

NEC は、通信事業者向けに IMS (IP Multimedia Subsystem) を仮想化した「仮想化 IMS (vIMS) ソリューション」を開発した。本ソリューションは、3G 音声サービス (W-CDMA) および VoLTE (Voice over LTE) サービスの制御を行う制御系と、音声データの中継を行う IMS-AGW (IMS Access Gateway) から構成されている。なお、NEC は LTE 音声サービスである VoLTE サービスの実験に成功した。

今回開発した vIMS ソリューショ

ンは、制御信号処理部に加えて、通信事業者から高度な QoS 制御が求められる音声データ/映像データ転送処理部 (IMS-AGW) を、汎用サーバを使用した仮想化基盤上に構築している。これにより、VoLTE サービスの特徴である高音質、低遅延、また、VoLTE 標準サービスであるビデオコールでは、高精細な映像をストレスなく送受信できる。

本ソリューションは、NEC が注力する SDN/NFV ソリューションのラインナップ (vEPC、vMVNO、vCPE

拡充の一つとして提供される。

NEC は、「社会ソリューション事業」に注力しており、今後も付加価値の高い SDN/NFV ソリューションをグローバルに提供し、通信事業者の競争力向上に貢献すると共に、今後も引き続き柔軟、迅速かつ最適な通信ネットワークを実現するグローバルソリューションを展開していく考えだ。

● NEC キャリアサービス事業部

TEL : 03-3798-9636

空中音響技術を利用した「ドローン探知システム」を販売開始

～昼夜問わず、飛来するドローンの早期発見を実現～

OKI は、空中を伝わる音響信号に関わる、受信、信号処理、情報処理、表示処理などの全般技術である空中音響技術を利用して、飛来するドローンを探知する「ドローン探知システム」を開発し、販売を開始した。

ドローンの普及が広がる一方で、重要施設、大規模集客施設の安全やプライバシー侵害など、ドローンの事故や悪用の脅威に対する社会的懸念が増加し、ドローンの探知に関する関心が急速に高まっている。

OKI は、ドローンが飛行音を隠匿

することができない点に着目し、従来から培ってきた空中音響技術をベースに、ドローンの飛行音を複数のマイクロフォンで収集して音源位置分析を行い、飛来方位・仰角、および距離の通知が可能な「ドローン探知システム」を開発した。本システムは、音響センサー部と操作表示部で構成されている。なお、探知範囲は音響センサーの設置数と配置場所により広げることができ、ネットワークを使った遠隔監視も可能だ。

「ドローン探知システム」は、空

中音響技術を利用しているため、夜間においても飛来するドローンの早期発見が可能だ。また、オプションでカメラを組み込むことにより、監視者は映像による確認も行えるほか、映像の録画も行える。これにより、侵入履歴の記録を残すなど、監視用途を広げた運用を行うことができる。さらに、要望に応じてドローンの機種を識別することが可能だ。

● OKI 社会システム事業本部

TEL : 03-5445-6318